

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 2

札立の時

あつて泥濘を  
峻険を  
熱砂を

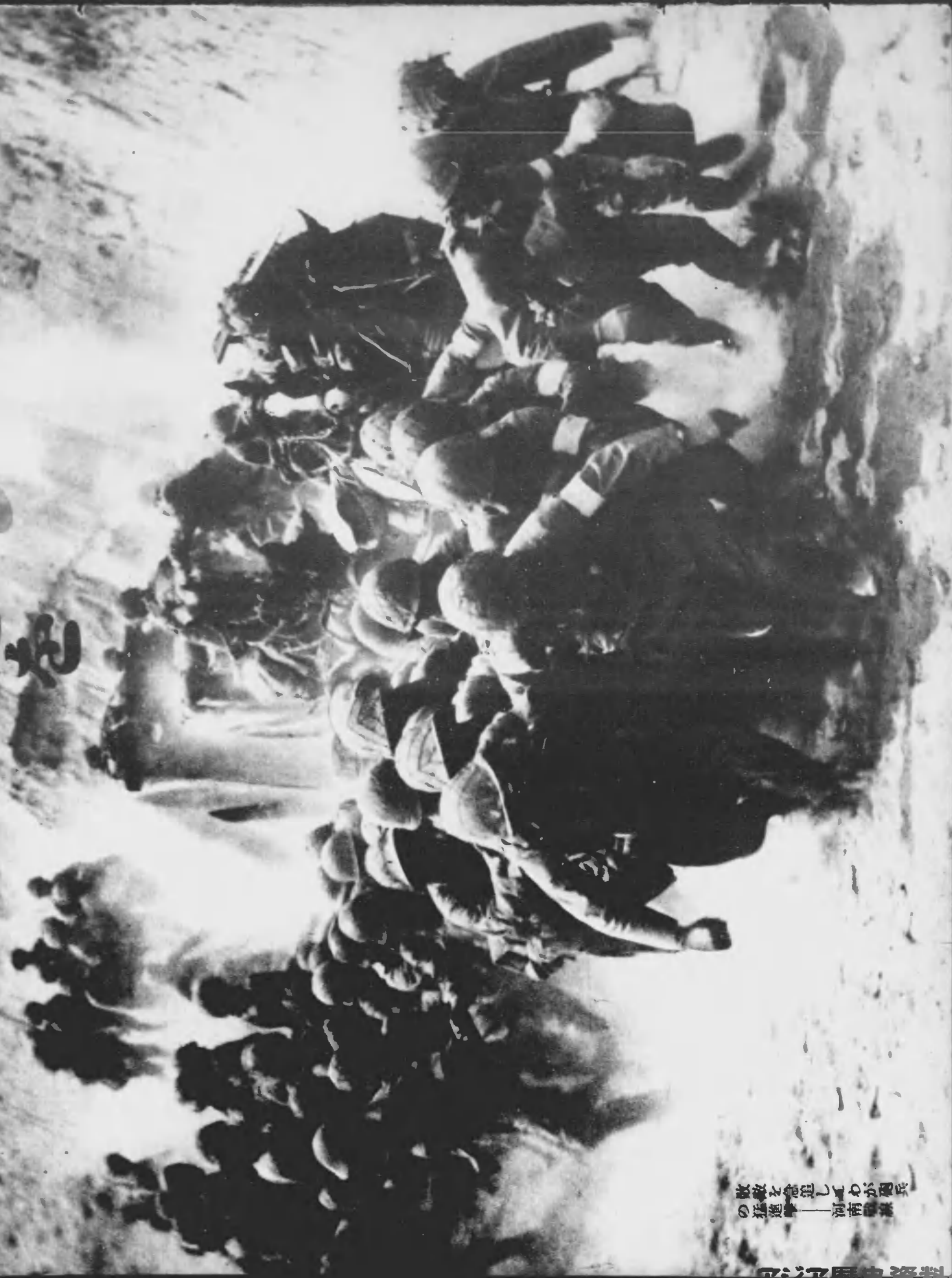
あつて敵の矢<sup>や</sup>襲<sup>ぶすま</sup>を

突撃に隘路なし

われらもまたこの闘魂を

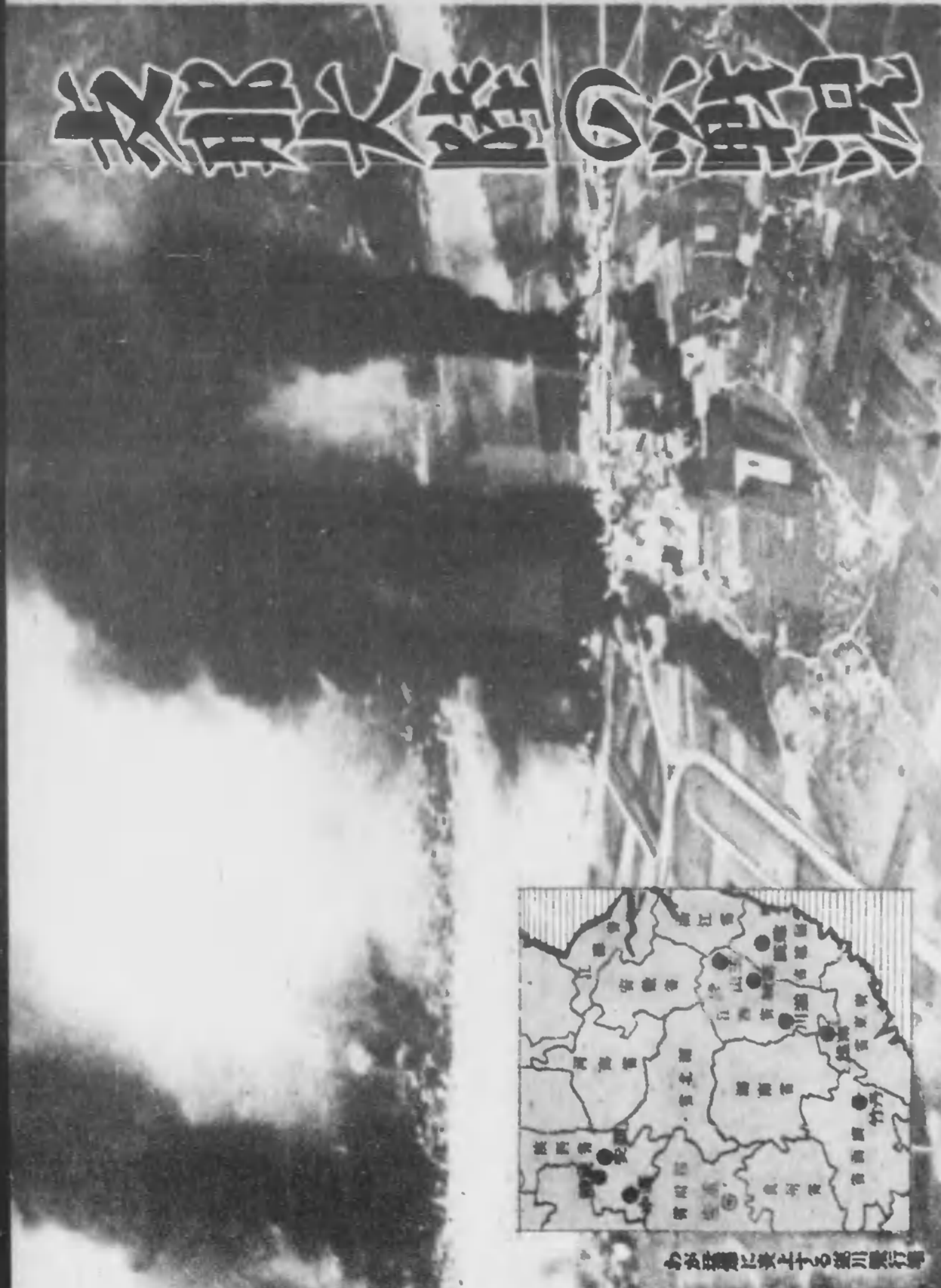
週報 眞寫

編輯局報情  
第三三第・日一卅月五



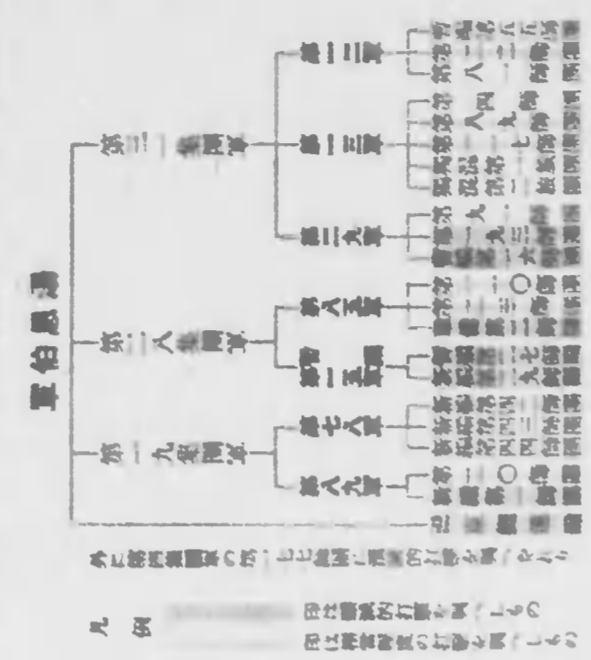
敵軍を急進しむるが砲兵  
の猛進隊——河南砲兵

# 支那大陸の戦況



わが軍に敗れた魯川飛行場

方に反撃し、敵を退却しつゝその主力に對する包圍戰を完成し且つこれを包圍戰中である(伏牛山系及び山陽連嶺の全圖参照)



## 鄭州會戰

わが北支軍は去る四月十八日中亦附近において、また四月二十日鄭州城正面においてそれぞれ新黄河の渡河作戦を開始し、敵の逐次の抵抗を破れしつゝ、前進し四月二十日早朝、鄭州の攻略を完了し、さらに南下して四月二十四日新鄭、密縣、汜水の線に逃出し爾後の作戦を準備したのである

## 許昌攻略作戦

わが軍はその攻撃準備を終り四月三十日再び作戦行動を發起し、堅陣を利用して、頑強に抵抗する敵を破れし、五月一日許昌を攻略した

## 伏牛山系及び山陽連嶺の包圍戰

わが軍は許昌攻略を終り、敵の退却に出で急進西方及び西北方に反撃し、敗走する敵第十二軍及び第二十九軍を隨所に擊破しつゝ、五月三日には禹縣を、四日には義城及び鄭縣を占領した

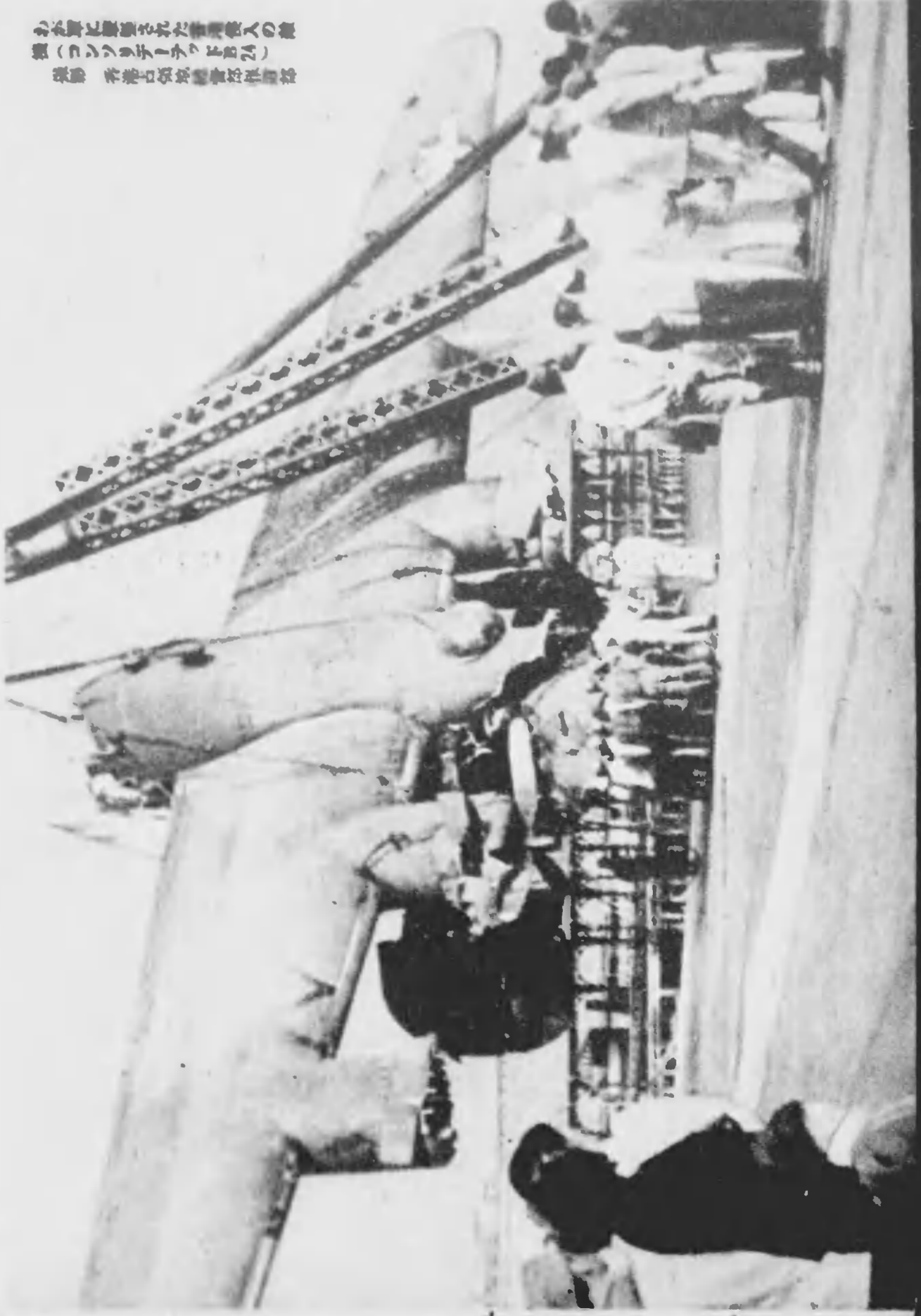
## 三、航空作戦

地上作戦と共にわが航空部隊もめざましい

部隊も五月一日信陽附近より攻勢を開始し北進中であつたが、許昌攻略後南進中であつたわが部隊と五月九日豫山において相會し、ここに京漢線打通の偉業は成つた

歴史的な北支、中支兩軍の携手によつて、遂に打通をみた京漢線は北京より漢口に至る間、河南、湖北の三省に亘り支那大陸中央部を南北に貫く大動脈である。沿線二帯廣大な平野で山岳の起伏するところは河南、湖北の兩省境のみ、漢民族興隆の發源地となつた黃土地帯から成つてをり肥沃な穀倉地帯である

わが軍に敗れた魯川飛行場の機(コンソリデーター)と機師(香港白雲機場警備隊員)



大本營陸軍報道部

## 一、河南の大殲滅戰

晩春より初夏にかけて——今や支那大陸河南省、即ち古來幾多の英雄が能く遠く中原の地に、最軍の重慶軍に對する鄭州壯大な大殲滅戰が展開されつゝある

- 作戦開始以來五月十日頃までの作戦経過は、たいたい水ぎの三段階に區分ができて、1 鄭州の防備に大なる弱點をもち、わが軍が新黄河を渡河しようとする時期にこれを破れし、持久しようとした敵に對し鄭州を攻略した(鄭州會戰) 2 鄭州の防備破るゝや許昌、密縣、汜水の線、新黄河、密縣の防線に對して、沿線沿線の各部隊三ヶ軍(第十二軍、第十三軍、第二十九軍)をもつてわが右側より出陣し、決戦の場に出ようとした敵に對し、その防線の破れし、許昌を奪取した(許昌攻略作戦) 3 わが軍主力は許昌を占領するや、急進西方及び西北



河南の攻勢を占領 中國の穀物と農夫を害虫を掃除 石川 謙介

# 皇軍勇戦

## インパールの包圍壓縮

空中視察に狂奔する敵が、風速つてわが陣地内に投下した弾薬と、おはれ、陣上に陣頭をとめる敵の落下傘



### 週問點描

某旅団長は、陸軍大尉で、近く卒業する陸大生に訓示を行ひ  
 「皇軍は無限の力を蓄へて今やまさに好機を捕らへて、敵軍の戦力を撃破し以てその戦争継続意志を徹底的に粉碎せんとしつゝあり」と強固な決意を表明した。  
 さあ、さらば、さらば、さらば

×  
 學校工場化實施案の決定で、國民學校を除く、各種各種學校の工場化が急速に促進されることになった。名實共に戦ふ學校が生れるわけ

×  
 軍需品、民需品を通じて現貨統一が一層強化徹底される。現貨統一の必要性はこれまでも十分痛感されてゐたのだが、實情が困難なためなかなか移らなかつた。だが、ドイツでは、生産額の内紙から、死後の貯蓄まで現貨が統一されてゐるといふ立派な他山の石がある

○ 敗敵を追つて急進する皇軍將兵  
 皇軍將兵

○ 道路上に敵が埋没した地雷を巧みに排除しつゝ

迫り来る雨季の前に、インド作戦は苛烈の一途をたどつてゐるが、皇軍將兵は神勇勇戦よく敵の企圖を封殺して、今やインパール包圍戦は、敵の血みどろな狂奔にもかへはらず、まさに大敵の恐怖な絆を穿してゐる  
 先づ、コヒマ方面では、コヒマ—ダイヤモンド道の打撃を企圖して、ダイヤモンド方面より増強された大砲、戦車など有する敵の反撃に對し、コヒマ周邊地區のわが部隊は、これに大打撃を與へて撃退、コヒマ附近を確保してゐる  
 パレル方面でも、新たに増援を得た敵は死物狂ひの抵抗をしてゐるが、わが軍はインド國民軍と共に空軍の協力下、戦果を擴大中  
 次にヒシエンパール方面では、敵は同方面に半永久陣地を構築、戦車、装甲車、重砲などを排出して必死の防衛をしてゐる。わが軍は連日猛攻を續け、じり／＼ヒシエンパールに迫つてゐる  
 また、四月下旬一部の敵が怒江を渡り、フーコン地區から南下した敵と策應すべく行動を開始したが、わが軍はこれを撃退、隨所に撃滅中である  
 この間、わが陸軍航空部隊は、地上部隊の戦闘に協力する一方、敵基地に侵襲、或ひは來襲する敵機を撃つて、連日多大なる戦果をおさめてゐる

○ 密林の間をついて、轟然と吐くわが巨砲陣  
 撮影 日本映画社



# 大東亜の雄飛

シヤワ軍政建設大綱

大東亜の雄飛から全面的に脱出した敵米英は、その物力を恃んで、再び東亜の天地に侵略の魔手を伸ばさざりしてゐる。戦争は激しくなる一方だ。だが、日本を盟主とし、大東亜宣言の實現をめざして、美々新しい建設に挺身する大東亜十億の民族は、今やその総力をあけて、米英の再侵略時に反撃を加へようとしてゐる。

シヤワを風よ  
全島の精銳、優秀な若者をすくつて組織された防衛義勇軍が、日夜血の訓練を積みつゝ、敵軍の襲撃を待つてゐる。

また建設の速しい意欲を領袖にのせて、官紳職の失兵、紙芝居部隊が街から村へ、そして野原で迎へる民衆。アジア人のアジアをつくらう、斯くて米英を撃たうの國魂がシヤワ全島をおぼよびてゐる。

大東亜防衛へ、シヤワは、いや大東亜全民族が、今や雄飛してゐるのだ。

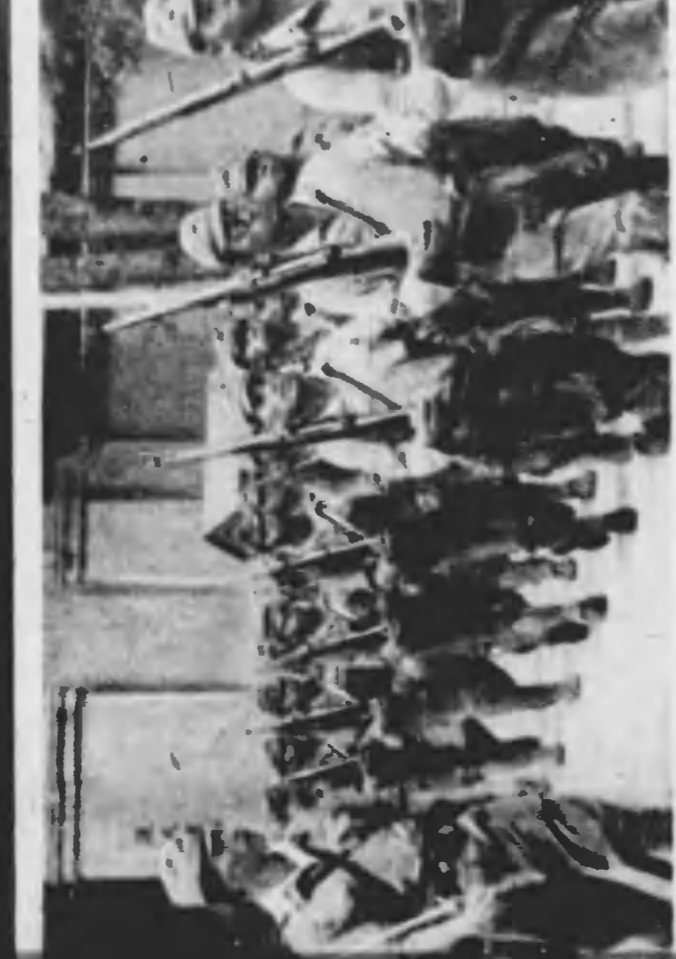
シヤワ防衛を最期に對つて、決死の覚悟を肩に...

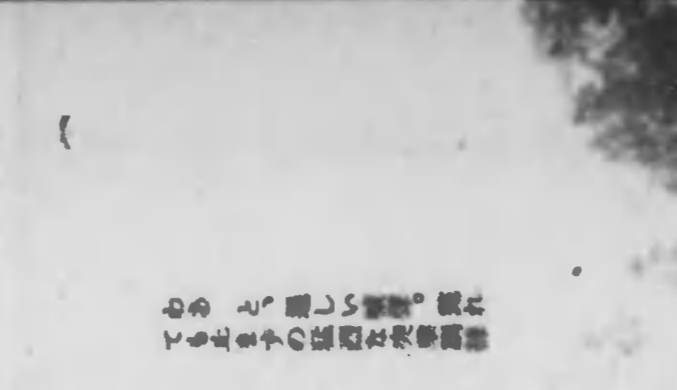
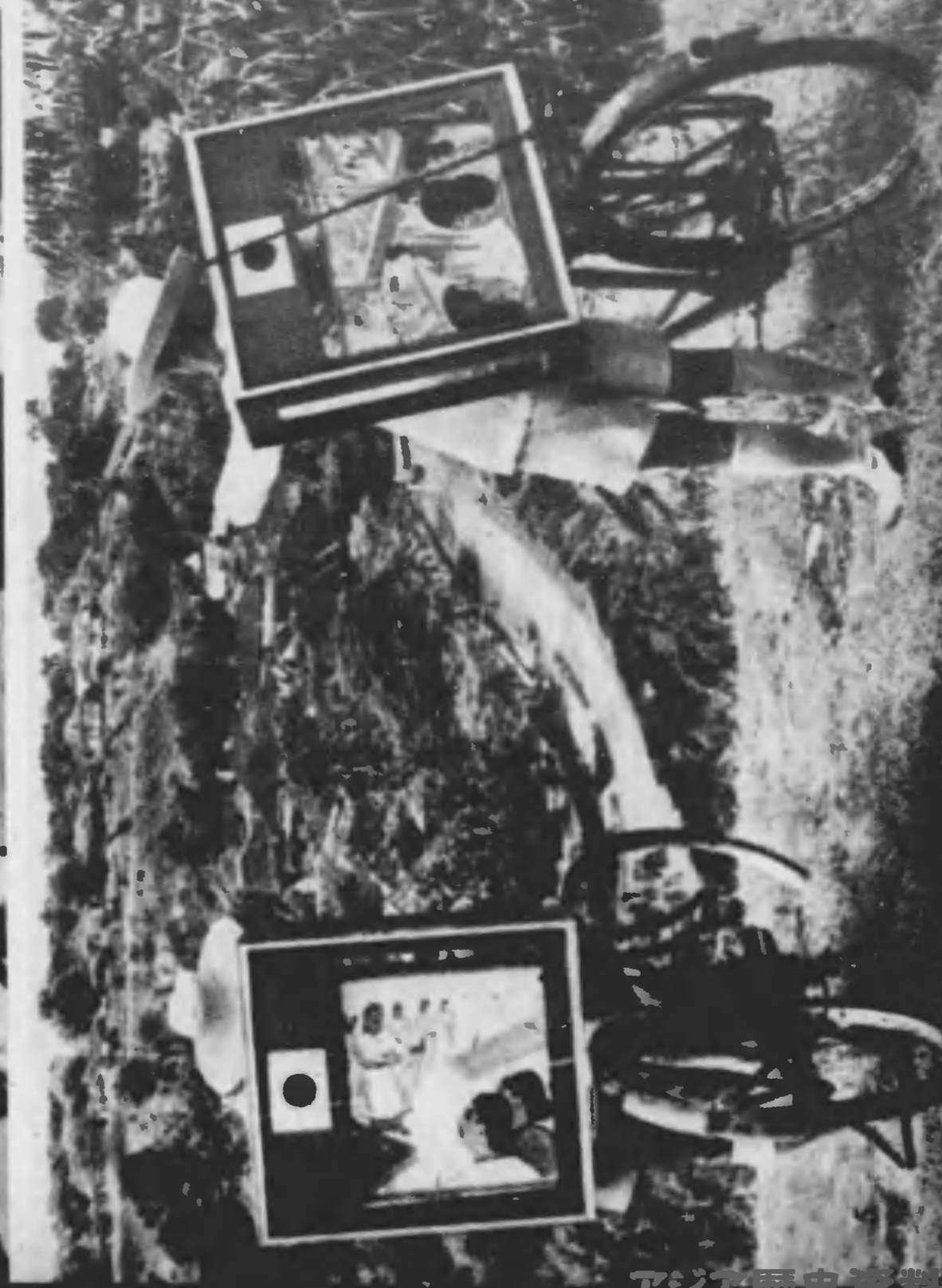
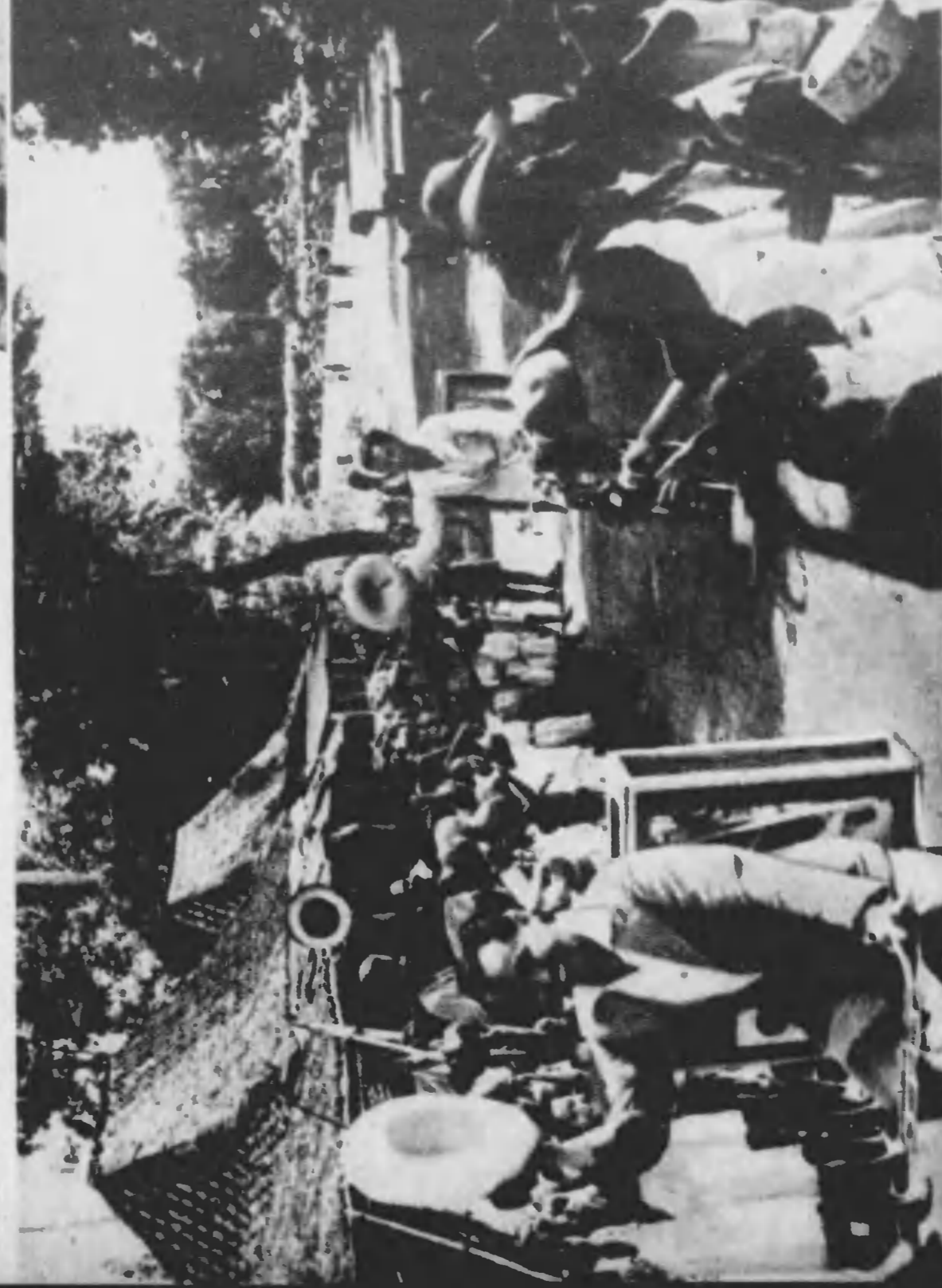
週報

## 軍勇義衛防ワヤン



日本軍も全島に上陸して、戦術を修練の時期。肉弾相持つ相續によつて、強靱な身軀と敢闘精神が養はれる。隊伍整々、まさに防衛に値して、防衛の訓練につく。





たしまてつ待  
**居芝紙**

真摯には、またく同じ苦  
味しい人ばかり。楽しみ  
らねにもいふ心及願望が：  
熱心に紙芝居を見入る少年  
たち、彼らも大きく立つた  
らあつと……

□ 千早の、また深き目「千早の」関心を併し心で水おのれく(あつと)と



□ 千早の製作、民衆にもよくわかるからだ

現地人の優秀な児童が脚本として原案をかく

現物者は、脚本をもとに原案を制作

□ 千早、深き目から、今度なるの時は、あつとあつと



# 雄々し女子も まじって 水防訓練

風景画 佐藤良輔

汗と努力の結晶である雑草も作物もひとたび洪水に見舞はれざと、一時のうちに鳥有に胸してしまひます。この自然の脅威をのぞき、この災害をできるだけ防止するため、このほど大和川の流を控へる茨城縣葛飾郡の茨城縣管内の村々では、河川協会の主催、茨城縣と内務省の後援を得て、水防訓練をしました。

参加者は各村の消防団水防隊、それに今年に特に女子水防隊員も加はつて合計二百四十名で、いろいろな教育施設の下に練習場を設け、指導、大和川の土堤一帯にわたつて、土嚢をつくつたり、これを積みあげたりして、たのもし訓練ぶりを發揮しました。



いそぎよく、選出議員の指導下、堂々と訓練場へ向ふ水防隊員

なごころに扮へた土嚢は女子水防隊員の手によつて築造中



土嚢をつみ、備をかさねる青年をつかんで、これぞあま、強固な水への防壁とする

土嚢と雑草を交互に積み重ねのおそれが見えぬ、青年と土嚢で、カスガヒの働きをまなぶ訓練中



## 奉公班の一日

奉公班 久保三郎

みなこの基地奉公班の人々も、必勝の信念を胸に、日夜田圃に玉敷にと、たゆみない訓練の生活を送つておます。そのいそがしさの中にもいつもお國のためを傷つた兵隊さんへの感謝をあらしくして

おます。今日も〇〇市の陸軍病院では、町内の奉公班(内地の義勇隊)の人が傷病の身を養つてゐる兵隊さんをおたづねして、心からなるお見舞をいたしました。

奉公班の内地よりきりついたところで、今日はみんなで病院の門をくぐりました。本はりまきの坊やは旗をかついで先頭をまわりました。

人々の胸に、傷兵の涙はらんでおました。

みづくしく感謝のしるしを胸に、奉公班の人々と兵隊さんのお別れがいつもでも聞えておました。



# 1866

## のこふ戦で法防豫な力有 うせまり護ら核結を身



病室に於けるB.C.G.ワクチンの接種

結核のために失はれつゝある國民は、戦時下のつてゐます。第一線の戦場で戦死したる將兵の數より遙かに多くの人々が結核のために空しく歿してゐるのです。しかもその大部分は、戦争遂行の原動力である若壯年者で、このために生産力の増進に及ぼす影響も決して少なくありません。

そこで、いま元氣で働きつゝある人々の中から結核患者を出すことを防ぐといふことは、戦力の維持といふ點から、極めて大事なことです。工場・事業場で夜もなく活動を續けてゐる産業戦士連や、水年の稼働を離れて徴用された人々、或は女子挺身隊員や動員に動員された学徒等にかへられた必勝への重い使命を、結核の發病などで無にしてはなりません。

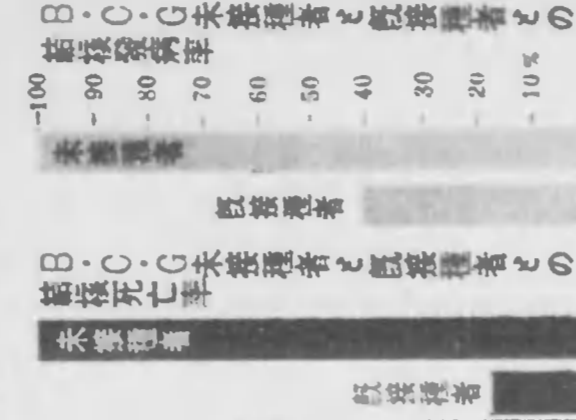
さて結核を豫防するために、これまでつてきた方法としては、健康診断を廣くやつて發病を早く発見して早く治療すること、結核の發病は結核に初めて感染してから一年以内になる關係から、それを早く知つて、その後の一年間の生活を十分注意して、發病を抑へようといふ生活の指導による發病防止といふこと等です。そのために、ツベルクリン反応の検査やレントゲン検査等による集団検診を行ひ、必要のある者は健康診療所に入れて生活の指導をしたり、療養所で療養させて結核の發病を防ぎ、相當の効果を擧げてきたのです。ところで最近の結核豫防についての學術研究の進歩により、今年からは以前の方法のほか、新たにB.C.G.ワクチンの結核豫防接種を以て

きるだけ多くすることになりました。

### B.C.G.といふのは

牛を結核に侵らざる「牛乳結核菌」の毒力を、人間には少しも害のない程度に弱めたもので、これをまだ結核に感染してゐない人々に接種して、その後結核に感染したとき発病するのを防ぐ力、つまり免疫力をつけようといふのです。ちやうど天然痘に對する種痘かたいなものだと考へたらよいわけです。

これはフランスの學者、カルメット、گرانの兩氏が創製し、長年の動物についての研究の結果、一九二一年から人間に用ひ始められたのです。そこでこれら二人の學者の頭文字をとつてカルメット、گران兩氏の菌といふ意味で、B.C.G.と名付けられたのです。



このやうにカルメット、گران兩氏をはじめかなり古くから各國の學者が研究を進め、日本でも十數年前からこれを研究してゐる學者もあつたのですが、なほ不十分なところがあり、その用ひ方等についても、研究の餘地がたくさん残されてゐました。これに對して、日本學術振興會では昭和十二年から特別委員會を設けて、多數の専門學者の共同研究が進められてきました。その結果、B.C.G.による結核豫防の効果が改めて確證されたばかりでなく、ワクチンの使用分量、接種する場合の注射の術式、製造方法等についても、いろいろと改良され、さらに接種に伴ふ副作用をなくす方法も研究されて、結核豫防上の有力な方法として活用すべきも

のであるといふことが明らかになつたのです。そこでこの成果に基づいて、特に結核豫防上、重要な対象となつてゐる人々に出来るだけ早急に接種することとなり、B.C.G.ワクチンの製造設備を増設し、全國都道府縣に、この豫防接種をさせることになつたのです。

### B.C.G.接種は主として、みんな人達に

そこで、どういふ人達にこれをやるかといふと國民力法の被管理者として動力給養を受け人達、また一般の工場・事業場で働く動員者など、近く工場・事業場に就職する青少年その他の人々、それから結核患者の家族等で、健康診断を行ひ、ツベルクリン反応が陰性の人達に行ひます。

これらの人々は、年齢や職業等からみて、結核豫防上、一番注意しなければならぬ人であり、そのうちまだ結核に感染してゐない人達ばかりで、それらに何時かは感染し、發病する者が少なくないわけですから、まだ感染しないうちに接種して感染、發病の危険を極力少なくしようといふのです。

### この注射をうけるには豫備知識が必要

この注射は未感染の人に行ふのですから、豫防接種の前に、必ずツベルクリン反応を行ひ、その結果、未感染であると思はれる人だけに接種します。

ツベルクリンの注射は、前腕の内側にいたしますが、B.C.G.の注射は上腕の外側に、ツベルクリンの注射と同じやうに皮膚に最も薄い層に注射します。注射のあとには、そのときだけ小さく腫れますが、間もなく消えます。注射した場所にはこぶを擧げないこと、入浴もその腫れ見合はせるといふ程度の注意でよいのですが、十日以上経つて注射した場所が少し赤くなり小豆粒より小さい位に腫ることがありますが、これも間もなく癒ります。

豫防接種を受けた人には、大抵三ヶ月乃至半年毎にツベルクリン反応の検査を行います。その結果は多くはツベルクリン反応が陽性になりますが、これは本當の結核菌に感染した場合と異つて反応が弱いから既結核感染と見做すことはありません。但し反応が陽性に出たことは、B.C.G.の豫防効果が身體に及んでゐるものと考へることが出来るわけですが、既結核ツベルクリン反応が陽性に出ない人も稀く腫れにありま

すから、そのやうな人々に對照してB.C.G.を注射いたします。

### B.C.G.の豫防効果は

前に述べた通り、既結核に感染の後、發病するのを抑へようとするのですが、研究の結果は、B.C.G.を受けた人は受けなかつた人よりも二分の一も發病してゐないことが發表されてゐますし、また、もし結核が發病しても、豫防接種を受けた人は受けなかつた人よりけるかに経過がよいのです。

しかし、B.C.G.によつて結核發病を全然なくすることは勿論できません。また結核に感染する機会が多分あり、また發病の危険の多い人に特にこれを試みるのですから、その後、多少發病者が出ることはやむを得ないといふわけですが、ですから特に注意しないことは、B.C.G.接種を受けただけの人でも、日常できるだけ健康に注意し、その後はツベルクリン反応が陽性となつて結核の感染を受けたことを知つた場合は、その後の一年間は療養を続ける等、生活の養生に努め、第一發病を見つけた場合は早く治療する方法を怠らないやうにして下さい。

### B.C.G.の製造は

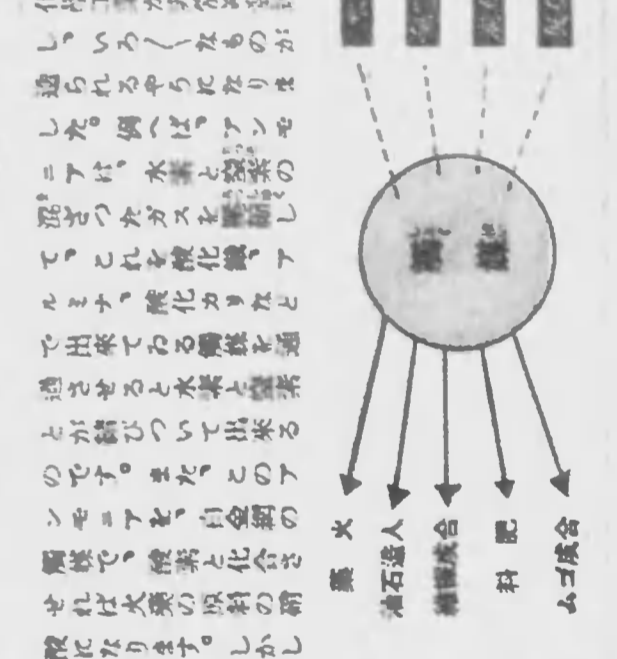
そこで今年には相対大量のB.C.G.ワクチンが必要となつてきますが、この製造には財団法人結核豫防会結核研究所の製造設備を増設し、毎月百万人分のワクチンを製造してゐますが、このワクチン製造に用ひられる菌は生きたまゝのものでないといふので、この點を特に注意してとり扱はれてゐます。

## 觸媒

本誌の第三二號（五月十七日）でお知らせした人造石油と、またアメリカが日本の銅を奪取するの代と盛んに宣傳してゐたナイロンのやうな合成繊維とか、ボレーイングの燃料油槽に使はれてゐる合成ゴムとか、金島で出来た部物に代つて使はれる有名な合成樹脂などのやうに「人造」または「合成」の名がついてゐるものが、近ごろ随分ふよましたね。

これは、石炭や水や空気が原料などを原料にして造られる簡単な化合物を、觸媒の力で新しい化合物に合成して、さらにうまく組合はせてつくるのですが、こんないろいろのものを造り出す基となる「觸媒」を皆さんはご存じでせうか。

例へば酸素の實驗のとき、燃素の力を熱して酸素をつくることはご存じですね。そのとき二酸化マンガンといふ薬を入ると、二酸化マンガンは少しも變化しないのに、酸素がもつと盛んに出るやうになります。つまりこのやうに化学反應の中でも自分は變らずにゐて、反應の進行速度を變へるものが觸媒です。



白金のやうな貴金属は、酸素のさしむが國では大切です。そこでその代りに酸化鐵と酸化亜鉛といふもので觸媒をつくり、酸素を造ること考へられました。これは、内田博士たちの努力によつて成を結び、立派に工業化されてゐます。

やうに人造石油は二酸化炭素と水素を、コバルトやニッケルなどの金属の觸媒の上で反応させて造り出すのですが、これらコバルトにしてもニッケルにしても、わが國では餘り産しませんが、その代りに鐵を促進しようと思はれてゐました。これも科學日本國の威力を發揮して、高多博士が自らに成功しました。

このやうに化学工業の觸媒といはれるほど大切な觸媒が、わが科學者によつて非難に役立てられてゐることは、全く頼もしい限りではありませんか。



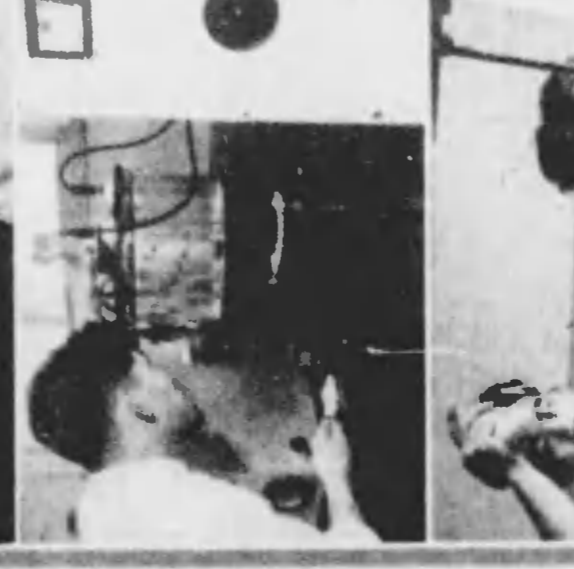
培養基に入れられた菌は電氣孵卵器中で培養される。培養後約二週間を経て、菌の發育の最もよい所でワクチンを作る。



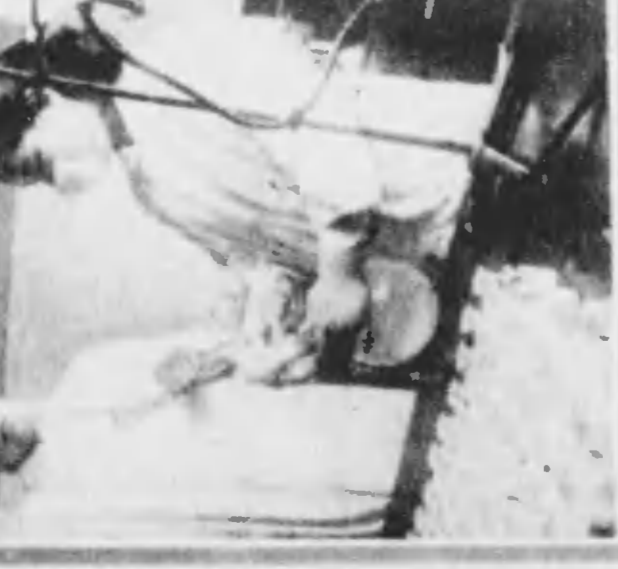
培養基の瓶を濾紙で濾し取り、さらに濾紙をもつて水分を除く。

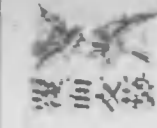


化学大母で正確に出る日方はほか、これを管底を時と時くした菌を培養用の大試験管に入れて、濾液水で一定の濃度にする。



試験管に入れられたものに超電波（一秒間に五十万回も振動する電波）をあてて菌を細断する。菌の塊りは細くバラバラな菌に分れて均等な菌液ができる。





### 大名氣質

薩摩二十四代は、宗信は豪邁な人だつた。八歳のとき、薩摩侯世子として吉原將軍に初お目見えしたが、將軍が引出物として刀をあたへようとするといりませぬといつて受けようとしな。供の家長共はみなおどろきおそれし、將軍も例のないことなので、あつげにとられて手もあぶさなに見えた。宗信はにこ〜わらひながらいつた。

「刀は大きいのも小さいのもたんと持つておます故にいりませぬ」

この無類なことは、吉原はおぼえろ笑ひ出したが、やがていつた

「さて、さて、薩摩守はよいお子を持たれた。御家風のほどゆかしく思はれる」

そして、宗信を大儀にともなつて、総始上御縁で饗應したといふ

宗信は、後に將軍の命で、尾張中納言宗勝の息女

と婚約がとらのつたが、その頃のことである。尾州家にあそびに行つて、玄關を上らうとすると、出迎へに出た尾州家の附老老成通人正が、宗信の足袋のひものよけかゝつてゐるのを見て「お足袋のひもが」と注意した。すると、宗信は、準人正の前記すつと足袋をさしのべた。無難に、あたり前のことのできにさし出されたので、準人正はおぼえずひきまつて、それをむすんでしまつたが、後になつてだん〜腹が立つてきた。御三家の家来は階級にして階級でない。公儀御家来と同格といふことは、東照公以来の規程である。まして附家老ともあれば、中納言でも大名のあつかひを受けることになつてゐるのである。いかに、お家の階級になる人であらうとも、足袋のひもをむすばせるとは言葉遣いである。そこで、宗信のかへつて行つたあと、中納言の前に出で、不平をいつた。すると、中納言は身をゆすつて大笑していつた

「そのきまゝなごおははこゝわしおそれともゝりものがまかせ、かまさんせ」

### 決戦兄弟 嶺南一作 15

### 弾指

「明日からい〜飛行機工場の工員さんおとと〜働ア終しくして」

### 學童漫聞

孫原 實二  
「ボクのことには必死ありません。それより途中で一羽も早く帰して下さいませ、おはあさん」  
「はい、はい、よくわかりました。クスン」



このときとあつた、段鬼の如く、田内正男  
「大事な道の上にならなくてはイヤ」

### 出がた

【高橋】兄弟はお徳ひのかへりに、にはか間に遇ひ賑々しくして家にかへりました。家についたときはもう陽がでておりました。お母さんのいひのけで兄弟は庭先に出てあ〜くの靴を掃除し、ぬかしりました夕方に家にいれようとするとき、靴だけが、先か〜づに割れておます。この靴は、人上も同時に買ったもので、たのもので、掃除するよきと

「はいつも二人、緒にしてゐるのですが、は〜どうしをおいでせう。靴は交換おれやうです。爪かひてゐると綱の靴下でも一日で切れてしまひます。た〜お母さんの爪を切つてきれいにしておくと、清潔なばかりでなく、靴下のおかひに大さな関係があるので、注意して爪のひぬやらにして下さい」

## 食糧増産は 国民皆勤で

今年も田植の前に供米の割當がきめられ、供出の成績によつて、政府では獎勵金や報奨金を出すことになりました。昨年以上に頑張り、部落の力を一つにして満期をかきす、また、一枚の田も無駄なやうに種付けませう。また、作備も戦時食糧として重要ですから種を残したものは、この中旬までに是非とも割當以上に種付けませう

口、農業以外の人は仕事の手助けをして増産の手助けにゆくこと

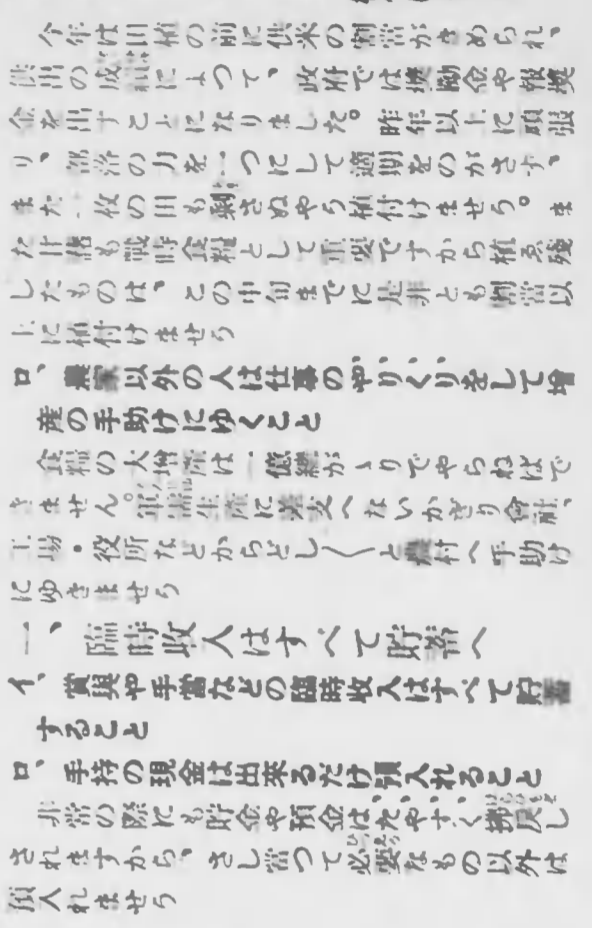
食糧の大増産は、意欲がよりでやらねばできません。軍需生産に差支へないかぎり、合村、工場、役所などからとしくと農村へ手助けにゆきませう

一、臨時収入はすべて貯蓄へ

イ、賞與や手當などの臨時収入はすべて貯蓄すること

ロ、手持の現金は出来るだけ預入れること

非常の際にも貯蓄金や預金は、たやすく拂戻されまから、さし當つて必要なもの以外は預入れませう



## 沖に帆あげて

川路柳村作詞 中山晋平作曲

沖に帆あげて

【♩=58-60】

1. オキニホアアカアアセニホアアアセニ  
2. オキニホアアカアアセニホアアアセニ

寄真週報 昭和十三年四月二十日 定價一部十錢(送料別) 編集者 寄真週報編輯部 印刷者 印刷局 中込所 全国各地官報週報普及部 書店 寄真週報新聞販賣店